

ひがしちゆうおう
都市計画道路 東中央線
（木津川市木津～山城町上粕）

都市計画道路東中央線は、木津川市の京奈和自動車道木津ICから関西文化学術研究都市木津地区を縦貫して、一級河川木津川を渡り、国道163号に至る幹線道路です。

本事業区間と国が整備する都市計画道路天神山線（木津東バイパス）とのネットワークにより、住宅、研究施設、企業の立地など計画的なまちづくりに資するとともに、交通分散による中心市街地部の渋滞緩和を図ります。

更に、木津川を渡河する新しい橋りょうを整備することにより、国道24号が災害・事故等により通行止となった場合の代替路線が確保され、防災機能の向上を図ります。

平成29年度は、引き続き用地補償、道路築造工及び橋梁上下部工を推進します。

◎事業概要

全体計画	H28までの実績	H29計画
事業期間：H21～H30 事業延長：1,430m 幅員：12m 総事業費：約61億円	事業概要：測量調査 用地補償 築造工事 橋りょう上下部工事 事業費：約28.9億円	事業概要：用地補償 築造工事 橋りょう上下部工事 事業費：約17.9億円

◎事業効果

- 関西文化学術研究都市木津地区のまちづくりを支援します。
- 交通分散による市街地中心部の渋滞緩和を図ります。
- 木津川を渡河する新たな橋りょうを整備し、防災機能の向上を図ります。

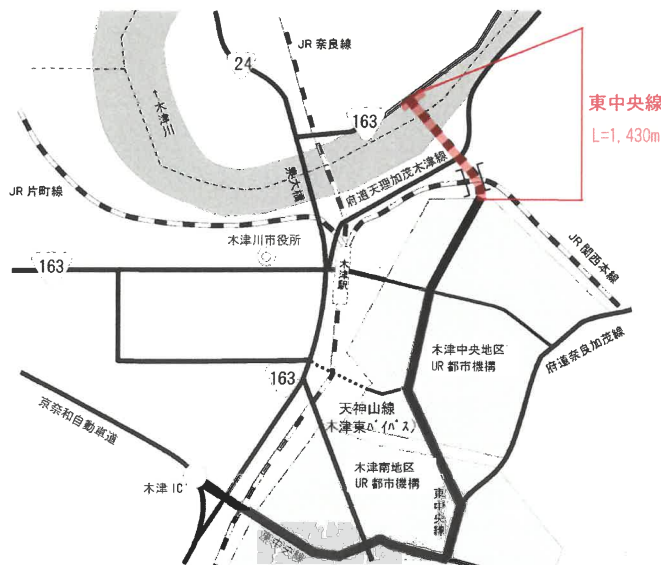
現在の状況（市街地中心部）



施工の状況（木津川渡河橋りょう部）



位置図



ごうのくちあまるべ うつつね
一般府道郷ノ口余部線（宇津根橋）
かわらばやし うつつね
 （亀岡市河原林町～宇津根町地内）

一般府道郷ノ口余部線は、亀岡市旭町の国道477号との交差点を起点とし亀岡市余部町で国道9号に接続する約8kmの路線で、地域の生活道路であるとともに高校生の通学にも利用されていますが、桂川の渡河部にある宇津根橋は架設後55年以上経過しており老朽化が著しく、また幅員狭小で歩道が無いため、歩行者や通行車両の安全性に支障を来している状況となっています。

本事業は、宇津根橋を含めた未改良区間の700mを整備することにより、老朽化橋梁の解消による災害時の信頼性の向上及び通行の安全性の確保を図るものです。

平成29年度は、引き続き用地補償、橋梁下部工を実施します。

◎事業概要

全体計画	H28までの実績	H29計画
事業期間：H26～H31 事業延長：0.7km 幅員：6.5(11.0)m 事業費：約20億円	事業概要：測量、設計 用地補償 橋梁下部工 事業費：約2.3億円	事業概要：用地補償 橋梁下部工 事業費：2.0億円

◎事業効果

- 老朽化橋梁の架替えにより、災害時における道路の信頼性向上を図ります。
- 2車線道路の整備により大型車の離合が容易となり、通行の利便性が向上します。
- 歩道の設置により、高校生などの通学時の安全性が確保されます。

位置図



現道の状況



施工の状況



一般国道 175 号ほか (地頭)

(舞鶴市地頭)

一般国道 175 号 (下天津)

(福知山下天津)

主要地方道 舞鶴綾部福知山線 (川北～猪崎)

(福知山市川北～猪崎)

一般府道 石原停車場戸田線 (戸田橋)

(福知山市戸田)

国土交通省では一級河川由良川流域における浸水被害の防止又は軽減を図るため、河川改修事業を推進しています。これに伴い、由良川に並行する道路の一部で嵩上げや改修が必要となることから、国土交通省の事業と歩調を合わせ、一体的に道路整備を進めることで、交通の安全確保と地域の防災機能強化を図ります。

平成29年度は、測量・設計、用地補償、道路築造及び橋梁上下部工等を実施します。

◎事業概要

箇所名	全体計画	H28までの実績	H29計画
(国) 175 号ほか (舞鶴市地頭)	事業期間：H25～H31 延長・幅員：0.5km・6.5(10.5)m 総事業費：約 5.0 億円	事業概要：測量設計 道路築造 事業費：1.0 億円	事業概要：道路築造 事業費：0.3 億円
(国) 175 号 (福知山市下天津)	事業期間：H28～H35 延長・幅員：0.5km・6.5(10.5)m 総事業費：約 4.0 億円	事業概要：測量設計 事業費：0.3 億円	事業概要：測量設計 事業費：0.2 億円
(主) 舞鶴綾部福知山線 (福知山市川北～猪崎)	事業期間：H26～H35 延長・幅員：1.2km・6.0(10.0)m 総事業費：約 9.5 億円	事業概要：測量設計 事業費：1.0 億円	事業概要：用地補償 事業費：0.4 億円
(一) 石原停車場戸田線 (戸田橋)	事業期間：H26～H31 延長・幅員：0.3km・6.0(10.0)m 総事業費：約 7.0 億円	事業概要：測量設計 橋梁下部 事業費：2.1 億円	事業概要：橋梁上下部工 事業費：3.0 億円

◎事業効果

- 歩行者、自転車通行の安全性の向上を図ります。
- 異常気象時等における防災機能の向上を図ります。

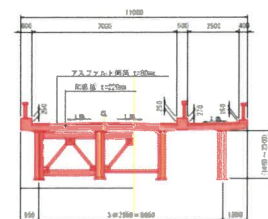
位置図



施工の状況



標準横断面図 (戸田橋)



原子力災害時避難路整備事業

まいづる (舞鶴市域) ・ あやべ (綾部市域)

舞鶴市大浦半島及び綾部市上林地区の道路ネットワークを形成している、主要地方道舞鶴野原港高浜線及び一般府道上杉和知線をはじめとする各路線は、沿道集落の生活を支える生活道路であるとともに、原子力災害時等における避難路として、緊急輸送道路と併せてその機能を発揮することが期待されています。

しかし、当該路線の一部で、幅員狭小・線形不良箇所があり、円滑な避難活動等に支障をきたしているため、これらの区間について待避所設置や道路拡幅等を進め、避難経路の信頼性向上と地域振興の促進を図ります。

平成29年度は、測量・設計、用地補償及び道路築造に着手します。

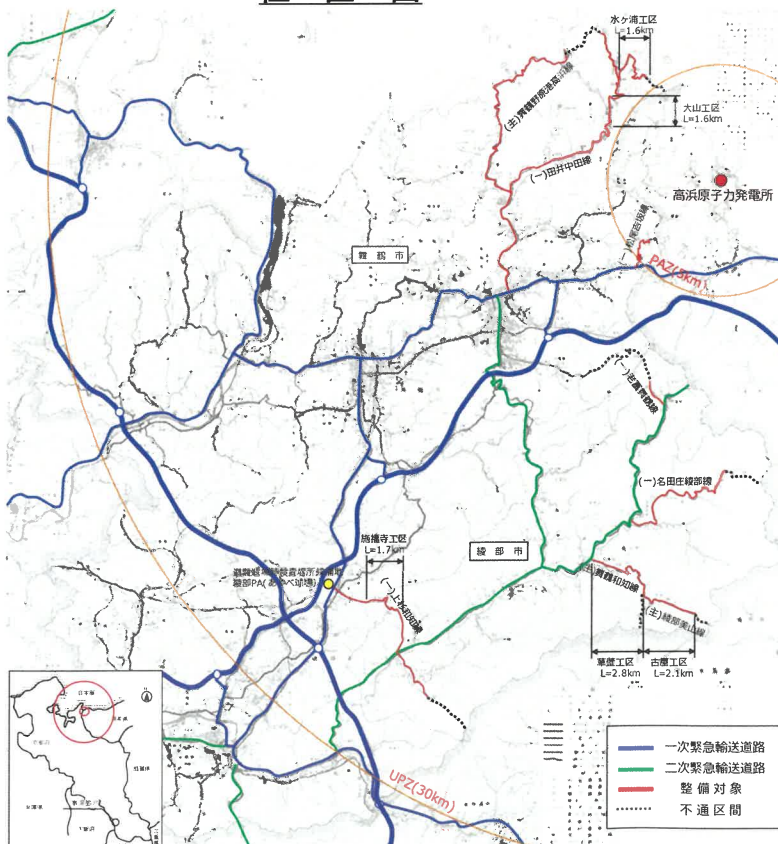
◎事業概要

全体計画	H28までの実績	H29計画
事業期間：H29～H38 事業延長：26.7km 幅員：5.5(7.0)m 事業費：約24億円		事業概要：測量・設計 用地補償 道路築造 事業費：2.4億円

◎事業効果

- 原子力災害時等における避難経路の信頼性向上を図ります。
- 幅員狭小、線形不良区間が解消され、安全で円滑な走行に寄与します。

位置図



現道の状況

(主) 舞鶴野原港高浜線



(一) 上杉和知線



都市計画道路
一般府道
一般府道
主要地方道

ごりょうやまざき だい こう く
御陵山崎線(第3工区)

かみ く ぜ い わ み かみざとせん なんたん
上久世石見上里線(南端交差点)

ちようほう じ む ごう いまざと
長法寺向日線(今里)

にしきようたかつき おおやまざき
西京高槻線(大山崎)

【かぐや姫観光関連】

こうたり
(長岡京市神足地内)

てらど
(向日市寺戸町地内)

いまざと
(長岡京市今里地内)

おおやまざき
(大山崎町大山崎地内)

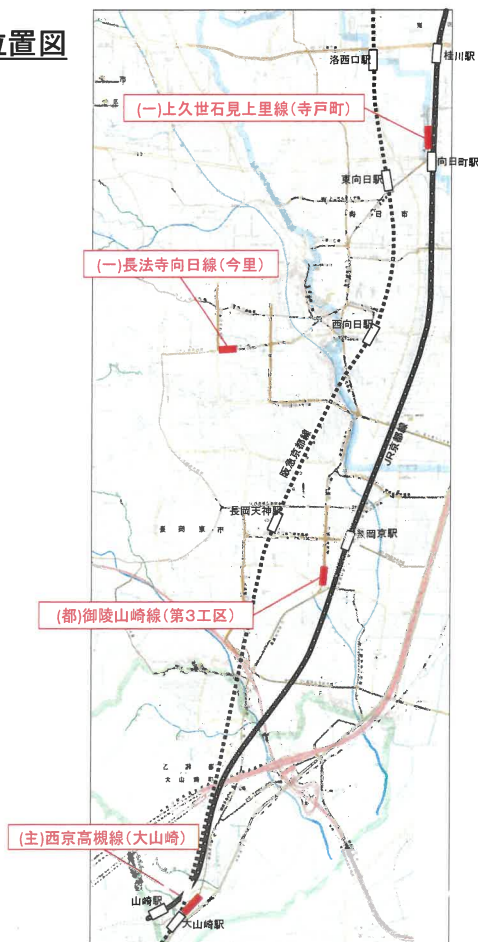
京都府では、世界的観光都市・京都市に近接し、多くの歴史・文化遺産、自然等の資源を有する乙訓地域を中心にした「京都・西の観光」エリアにおいて、『竹の里・乙訓』ともうひとつの京都をつなぐ」をテーマに、「京都・かぐや姫観光」を推進することとしています。

平成29年度は、乙訓地域の観光に寄与する4路線において、周遊環境の改善を目指し、用地補償及び道路の築造工事を推進します。

◎事業概要

事業箇所	全体計画	H28までの実績	H29計画
御陵山崎線 (第3工区)	事業期間：H27～H33 事業延長：0.24km 総事業費：約26億円	事業概要：測量設計 用地補償 事業費：0.6億円	事業概要：用地測量 用地補償 事業費：0.4億円
上久世石見上里線 (南端交差点)	事業期間：H23～H29 事業延長：0.22km 総事業費：約9.2億円	事業概要：測量設計 用地補償、築造工事 事業費：約8.0億円	事業概要：用地買収 築造工事 事業費：1.2億円
長法寺向日線 (今里)	事業期間：H26～H29 事業延長：0.2km 総事業費：約1.3億円	事業概要：測量設計 用地補償、築造工事 事業費：1.0億円	事業概要：築造工事 事業費：0.3億円
西京高槻線 (大山崎)	事業期間：H28～H31 事業延長：0.26km 総事業費：約0.9億円	事業概要：測量設計 用地補償 事業費：0.2億円	事業概要：築造工事 事業費：0.25億円

位置図



◎事業効果

○「京都・かぐや姫観光」の周遊環境を改善することにより、乙訓地域の観光プロジェクトに貢献し、地域経済の活性化を図ります。

現道状況(御陵山崎線3工区)



完成区間(御陵山崎線2工区)



「京都やましろ茶いくるライン」整備事業

(山城管内：京田辺市、宇治田原町、和束町、精華町)

京都府では、府南部の宇治茶のふるさとを舞台とした地域おこしの取り組み「お茶の京都」により、エリア全体を一つの観光スポットとして観光振興、地域振興を推進しています。

「お茶」の歴史に深く関わる拠点が「日本茶 800 年の歴史散歩」として日本遺産に認定されたことから、その拠点等を自転車で周遊するルート（京都やましろ茶いくるライン）を設定し、府と市町村共同で整備に取り組んでいます。

平成29年度は、誘導ラインや案内看板等を整備します。

◎事業概要

全体計画	H29計画
事業期間：H28～H30 事業延長：約 60km（府管理道路分） 宇治・宇治田原茶いくるロード 南山城村・和束茶いくるロード ツアー・オブ・ジャパンロード 総事業費：約 1.2 億円	事業延長：約 40km（府管理道路分） 事業概要：誘導ライン、案内看板整備、舗装補修 事業費：0.84 億円

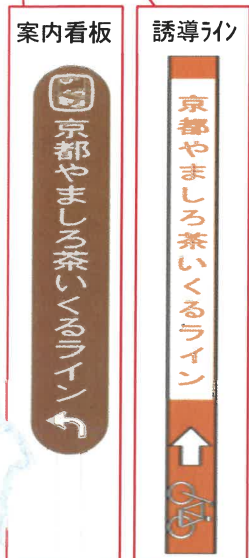
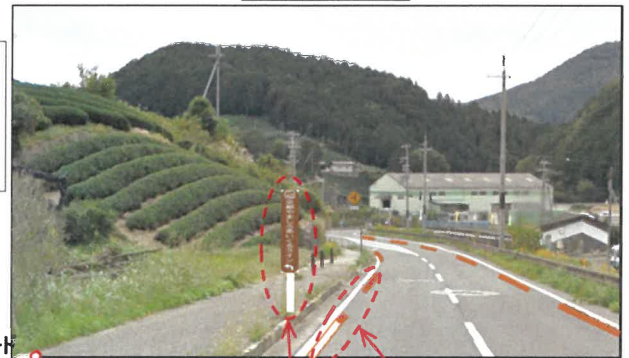
◎事業効果

○日本遺産として認定された拠点をサイクリングコースとして結ぶことにより、「お茶」に関わる歴史・文化や背景などの魅力を広く周知し、山城地域の広域的な観光振興、地域の活性化を図ります。

位置図



整備イメージ



(京都府)

しのみやがわ よどがわ しのみやがわ
四宮川総合流域防災事業(淀川水系四宮川)

やましくしのみや
京都府京都市山科区四ノ宮付近

1. 事業概要

平成25年台風18号の集中豪雨により、山科川流域の四宮川が氾濫し、床上34戸、床下53戸の浸水被害が発生しました。

このため、平成25年台風18号と同規模の出水に対し、人家浸水被害の解消を図ります。

2. 全体事業費

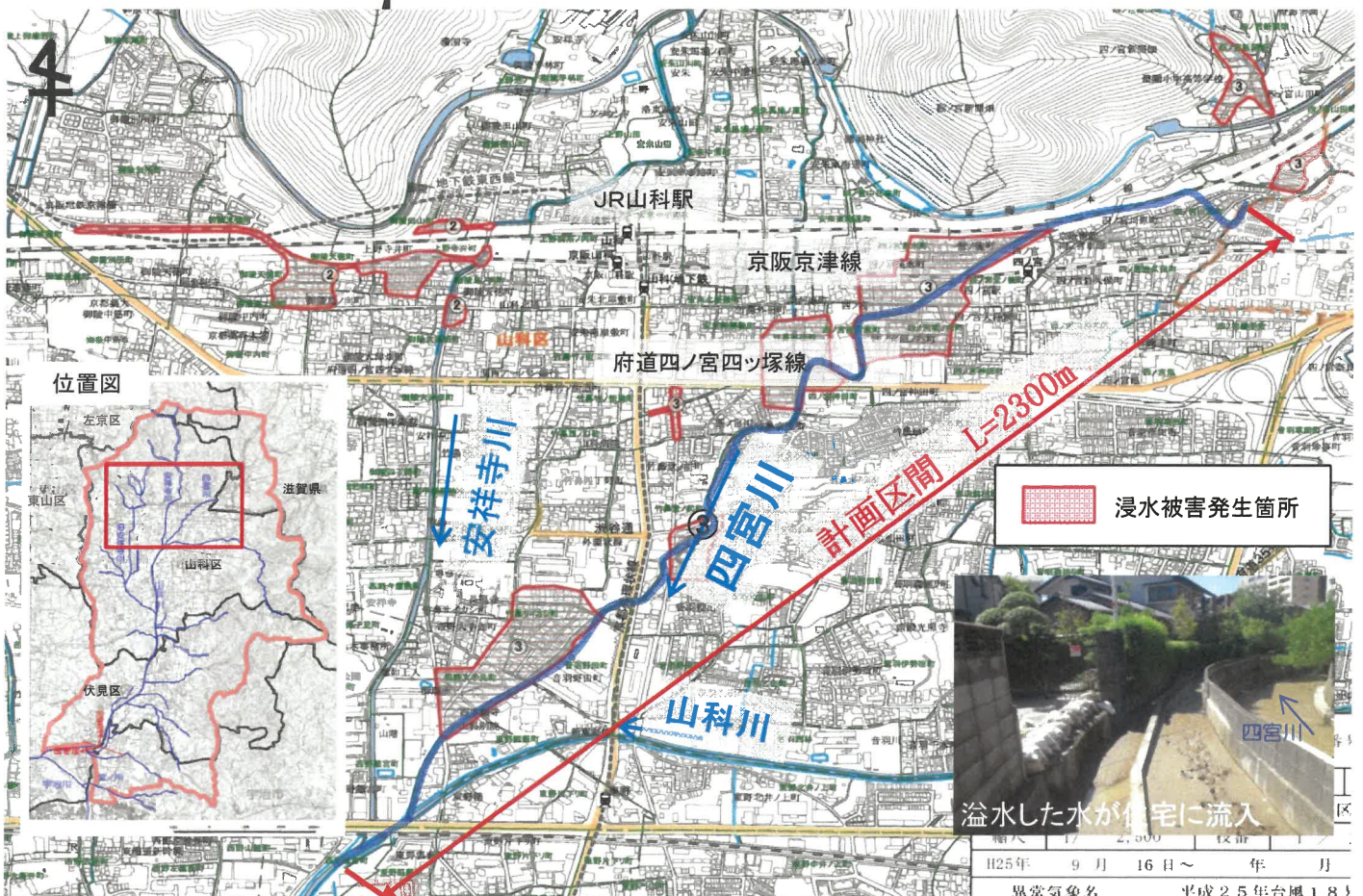
事業費 5, 120百万円

平成29年度実施予定額

事業費 30百万円 (国費15百万円)

3. 平成29年度の事業概要

測量、土質調査



一級淀川水系 古川 広域河川改修事業・床上浸水対策特別緊急事業

[久御山町・宇治市・城陽市]

古川と支川の井川では近年、度々、浸水被害が発生しており、平成24年8月14日京都府南部地域を襲った豪雨により古川上流部に位置する城陽市域では床上浸水159戸、床下浸水387戸が発生し、再度災害防止のため河川改修の推進による治水安全度の向上が強く望まれています。このため、床上浸水対策特別緊急事業により、早期に洪水被害の軽減を図ります。また、古川の国道24号交差部下流や支川の井川についても、浸水被害の軽減を図るため河川改修を進めます。

○事業概要

全体計画	H28までの実績	H29計画
古川床上浸水対策特別緊急事業 L=900m 事業期間:H26～H31 C=5,050百万円 事業概要 掘削工、護岸工、橋梁工、用地物件補償	C=2,610百万円 事業概要 用地物件補償、護岸工	C=900百万円 事業概要 用地物件補償、護岸工、橋梁工
古川広域河川改修事業 L=8,500m (井川3,160m、名木川1,840m) 事業期間:S60～ C=40,001百万円 事業概要 掘削工、築堤工、護岸工、橋梁工、用地買収	C=29,755百万円 事業概要 掘削工、築堤工、護岸工、橋梁工、用地買収	C=390百万円 事業概要 掘削工、護岸工、橋梁工

○当該年度の事業予定

古川本川は、河道の掘削工、護岸工、橋梁工、用地物件補償等を進め、井川については、サイフォンの移設等、古川本川の進捗状況に合わせた改修を進め、浸水被害の軽減を図ります。

